

3年生林産物利用 竹箸と竹べらの製作

美濃加茂市で放置された竹林が問題となっていることを受け、その解決策として竹の有効利用として、竹箸、竹べら、うちわの3種類の竹細工を行っています。モウソウチクは、竹箸と竹べらを作るのに活用し、マダケとハチクはうちわ作りに活用しています。



竹 箸

箸は太い竹を小刀で削ってから、火であぶって焦げ目を付けオイルで塗装して仕上げています。竹の皮を残して焦げ目と艶を出すと、とても味が出ます



竹べら

竹べらは太いモウソウチクを用います。割ったモウソウチクをのみや小刀、ミニルーターなどを用いて形を整えてから、ベルトサンダーで研磨します。その後火であぶって焦げ目を付け、オイルで塗装して仕上げます。

どちらの作品も、生徒が各自で持ち帰って家で使います。